

基礎

囲碁理論へのアプローチ



1 囲碁理論へのアプローチ方法

囲碁理論へのアプローチ方法としては

- 1 ゲームルールから特性を考える。
- 2 着手価値から特性を考える。
- 3 着手効率から特性を考える。
- 4 勝負の決定条件から考える。
- 5 構想や戦いから考える。
- 6 囲碁用語から考える。
- 7 格言から考える。

などいろいろあります。

基礎編では、囲碁ルールの特性から「着手価値」、「着手効率」、「形勢判断」等について考えます。

2 効率としての制約条件

囲碁は自由性の高いゲームですが、盤上に置かれた石には、

- ① 終局までには生きなければならない。
- ② 大石が取られると勝てない。

という2つの制約条件があります。

これらの条件から戦略や戦術が生まれ、構想や戦いでの「必然」という石の流れが生まれる原因になっています。

ご注意：この本で使用している「法則」や「定理」「公理」という言葉は、囲碁理論における「仮説」としてその重要度によって「定理」「法則」を区別して使用していますが、数学的に証明されたものではありません。